

第19回ベストスイマー2018表彰式

仲里依紗さん、秋山竜次さんら6名が受賞



水泳、水中運動で健康維持・増進を図っている人達が増えています。一般社団法人日本スイミングクラブ協会は毎年、スイミングライフで水に親しみ、水泳をこよなく愛される方に「ベストスイマー賞」を贈っていますが、今年度の表彰式が6月14日(木)に東京・ホテル雅叙園東京で開かれ、スイミングクラブの会員から橋本利男さん(アクシー中央II新潟県)、木下宏子さん(サン府中スイミングスクールII広島県)、原野富美佳さん(小郡スイミングスクール小郡校II福岡県)、著名人から女優の仲里依紗さん、お笑いタレントの秋山竜次さん、俳優・タレントの金子貴俊さんの6名が受賞し、著名人の皆さんには「名誉水泳十段」の称号も与えられました。受賞者の皆さんのプロフィールを紹介します。

◇橋本利男さん 新潟県新潟市のアクシー中央でスイミングライフを楽しんでいる橋本さんは現在89歳。水泳との出会いは25年前でした。仕事をリタイアし、健康のために水泳を始めましたが、当時のコーチに誘われて出場したマスターズ大会で見事に入賞!これが自信に繋がりを、以来、ベストタイム更新を目指して今日まで泳ぎ続けています。実は5回も癌で闘病生活を送りました。月5〜6回のペースで泳ぐことで気力も体力も回復し、日常生活は順調そのもの。水泳がその克服の大きなエネルギーとなっているのです。体力が落ちることは認めつつ、決して無理をせず、自身へのチャレンジとして体の動く限り継続していきたいとの目標を持っています。

◇木下宏子さん 広島県のサン府中スイミングスクールへ通う木下さんは現在89歳。表彰式には都合が悪く出席できませんでしたが、スイミング通いのきっかけは、お友達からの誘いでした。今では年間140日も泳ぐ木下さんですが、これまで75歳で人工骨頭手術を受け、85歳の時には右足の人工関節、86歳の時には左肩の人工関節の手術を受けています。泳ぐことで体力をつけ、日常生活は支障なく過ごすことができていると言います。高齢の方の関節障害には、正に水泳が最適です!無理をせず、スイミングライフを楽しんで下さい。

◇原野富美佳さん 福岡県小郡市の小郡スイミングスクール小郡校に通う原野さんは、元々運動が大の苦手でした。水泳は運転免許取得がきっかけでした。移動が簡単になれるため、「健康のために何かスポーツを」と考えてスイミングスクールへ入ることに。40歳の手習いでしたが、泳法の習得と共に自己啓発、自己実現を目標とし、苦手を克服するために大会出場を重ね、多くの方々との出会いが大きな励みとなっていると語っています。東京で開催された第1回世界マスターズ水泳大会(1986年)初出場以来、昨年のブタベストでの第17回大会まで連続出場しており、目標を「2021年地元福岡開催の第19回世界マスターズ水泳大会への出場」ときっぱり!

◇仲里依紗さん ドラマや映画で大活躍の仲さんは、私服やプライベートを載せたインスタグラムではフォロワー数200万人を超える、生粋のファッションオニスタとしても人気の女優さんです。今年4月に自身初のスタイルブック『Style Book』を出版しました。ロサンゼルスで撮り下ろしたファッションストリーや、セルフスタイリングによる着こなしの紹介のほか、女優・母・妻としての本音が迫ったロングインタビューなど、仲里依紗ワールドが凝縮された一冊となっています。子供の頃にスイミングに

通っていた仲さんですが、同書のQ&Aでは「オリンピックに出られるとしたら何の種目」との問いに、「水泳」と答えているほど。因みにご主人の中尾明慶さんは『ウォーターボーイズ2』にシンク口部副部長役で出演されています。また、4歳の息子さんも現在ママチャリでスイミングへ送り迎えをしているとのこと。

◇金子貴俊さん 映画『ウォーターボーイズ』で注目された金子さん。その後も多くの映画、ドラマ、舞台、バラエティー番組などで活躍されています。水泳が得意で、日本テレビ系人気番組『世界の果てまでイッテQ!』では、奇跡を呼ぶ男「オーシャンズ金子」としてお茶の間の注目を集めています。海洋生物の奇跡の瞬間を数多くとらえることに成功してきましたが、それを支える洋上での長期ロケでは、金子さんの確かなダイビング技術が無くしては語れません。また、『24時間テレビ』では遠泳リレーマンの常連で、スイマーとしての実力も兼ね備えています。プライベートでは一男一女の父として、子育てにも積極的に参加するイクメン。著書に『パパニティ〜僕と奥ちゃんの10ヶ月』があり、子育てや家族に関するトークショー等にも出演するなど、その活動は多岐にわたっています。今年のご家族の目標は「健康」とのこと。大いに水泳を活用して、基礎体力を養うとともに健康な体を維持しながら、これからも素晴らしい海の映像と感動を私たちに届けてほしいものです。

◇秋山竜次さん お笑いトリオ「ロバート」のネタ作り・ボケ担当の秋山さんは、昨年12月、2017年最も輝いた男として「GQ MEN OF THE YEAR」のベスト・コメディアン賞を受賞されました。自身の企画「ロバート秋山のクリエイターズ・ファイナル」が評価されての受賞でした。その架空のクリエイターの一人として、シンクロナイズドスイミングコーチ・染谷育枝さんを国士館大学の選手とともに見事に演じていました。水泳が得意で、番組の企画で潜水競技の記録に挑戦したり、名古屋テレビの「ニッポン遊泳紀行・ロバート秋山の市民プール万歳」では、自称「市民プール愛好家」として華麗な泳ぎを披露されています。実は秋山さん、子どもの頃から喘息に悩まされています。現在の活躍ぶりを見る限り持病を持っているとは思えないほどですが、得意の水泳が喘息の発作を起こしにくい体づくりに効果を上げているのかもしれない。これからは「水泳の伝道師」として、泳ぐことの楽しさ、水泳の素晴らしさをファンの皆様に伝えて頂くようお願いしたいものです。



秋山 竜次さん
(タレント)



金子 貴俊さん
(俳優・タレント)



仲里 依紗さん
(女優)



原野 富美佳さん
(小郡スイミングスクール小郡校)



橋本 利男さん
(アクシー中央)